

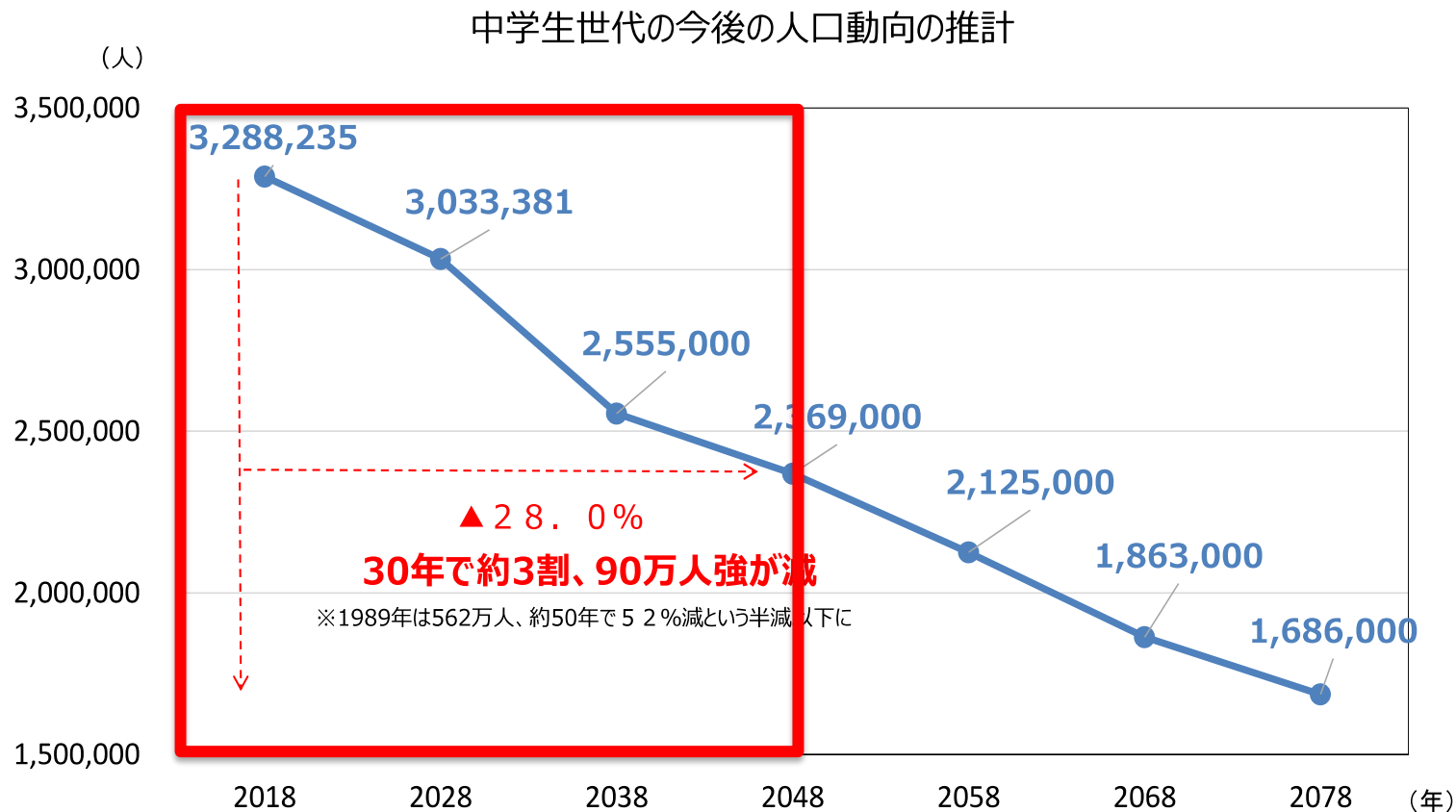
2025年度 U12ブロックDC 保護者講習会

子どもの力を伸ばす
保護者ができる“サポート力”の向上

2025 JBA ユース育成部会

少子化・人口減少の加速化

- 学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数／学校はさらに小さくなる中、部活動は持続困難。



中学生世代の人口数は4月1日時点において12～14歳の者の数

厚生労働省作成「人口動態統計」月報（2017年5月）」により算出するとともに、将来の出生者数について、国立社会保障・人口政策研究所作成「日本の将来推計人口（平成29年推計）詳細結果表」の「1. 出生中位（死亡中位）推計」を基に算出。

＜AIの急速な普及＞

- ・ 学習のサポートから進路指導，生徒の行動や健康状態のモニタリング
⇒ 教育の質を向上させる可能性を秘めている
⇒ 一方でリスクも少なくない
- ・ 人間の判断を補完する形態の教育・ AI支援に依存し過ぎる教育
☞ **子どもの判断力が低下する危険性**

人間本来の対応能力の在り方についての見直し

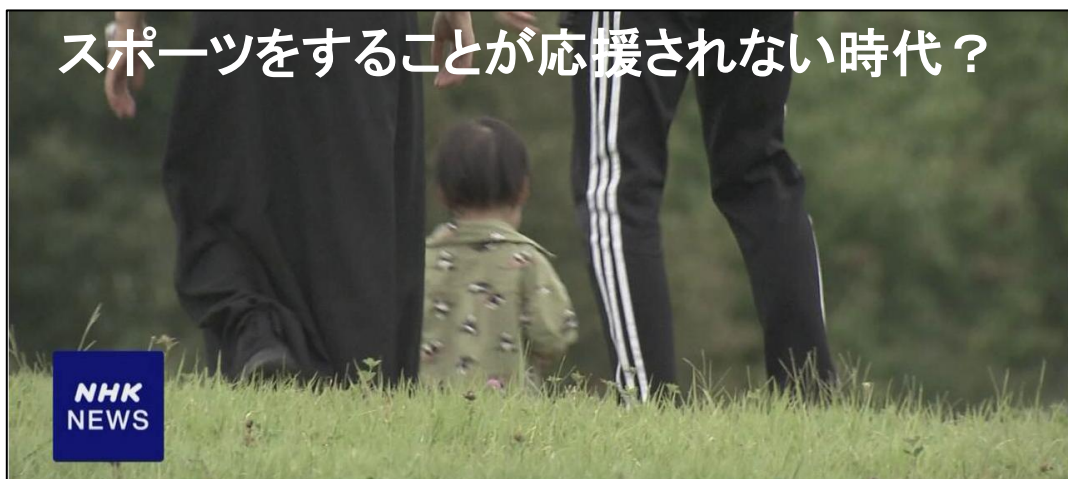
＜文部科学省（令和5年7月）＞

初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン

- ・ **「自分で考え，判断する力」の育成は，スポーツの基盤**
- ・ AIの判断基準の透明化の推進，データ保護の重要性の徹底

AI支援との協働について，如何にバランスよく活用するかが課題

スポーツは、長期的には危機的状況にある



「子育て世帯」全国の世帯で18% 過去最低
に 厚労省まとめ

2024年7月5日 17時04分

楽しさや価値を伝えなければスポーツから離れていく



スポーツの価値を子ども、保護者に感じてもらわなければならない

スポーツの価値とは？

<スポーツの価値>

- ・ **他者と交流**するには最適なツール
交流、仲間づくり
- ・ **信頼関係**の大切さを学ぶ
共感力
- ・ **良き社会人**になる要素を学ぶ
スポーツマンシップ：リスペクト、フェアプレー精神

<リスペクト>

他者を大切にすることを学ぶ

- 子どもたちが学ぶことで社会が明るくなり、社会的価値を高め合える
- 立場の違う存在・他者に対して、その価値や多様性を認め、大切にする

<フェアプレー精神>

公正に全力を尽くすことを学ぶ

- グッドルーザー（敗者の在り方）：負けた時の対応を学ぶ
- グッドウィナー（勝者の在り方）：勝ったときの対応を学ぶ
- 規範を守りつつ、信頼関係を構築する過程を経験する：プロセスから学ぶ
- 最大限努力：「勝敗」より「戦い方＝全力を尽くしたか」大切な視点

<フェアプレーの意義と価値の理解と普及>

- 自然に醸成されない：意図的に指導し、繰り返し実践するように心がける
- 保護者の理解の促進：子どもとの接し方が変わる

“人生を豊かに導く力”

非認知能力

OECD（経済協力機構）、文部科学省
人生のあらゆる側面を豊かにする
普遍的能力

ライフスキル
WHO

健康で安全な生活
実践的能力

社会人基礎力
経済産業省

職場や地域社会で
活躍するビジネス能力

非認知能力 ⇒ 数値では測れない**内面的な強さ**

- ・ 目標達成への意欲：関心，意欲，向上心
- ・ ミスから学ぶ：感情をコントロールする力，回復力
- ・ チームと協力する：共感力，対話力
- ・ 困難に立ち向かう：やりぬく力，自己効力感，社会性



これらはバスケを通じて培うことができます
子どもたちの将来を豊かにする土台



保護者の関わり方が重要

ここで、確認です。

バスケットボールの

主役（当事者）は誰ですか？



NO KEN GAS.

「来ないで」

＜保護者の不適切な関わり方＞

- ・ 勝つことが最優先
- ・ コーチングの参加
- ・ チームメイト，審判への暴言
- ・ 試合後すぐに技術的ダメ出し
- ・ 子どもの自己肯定感を下げる比較
- ・ 子供への過度な期待，親の夢の押しつけ

子どもの心のエネルギーは満ち溢れていますか？



「褒めること」に注目する ＜褒めるためのメリット＞

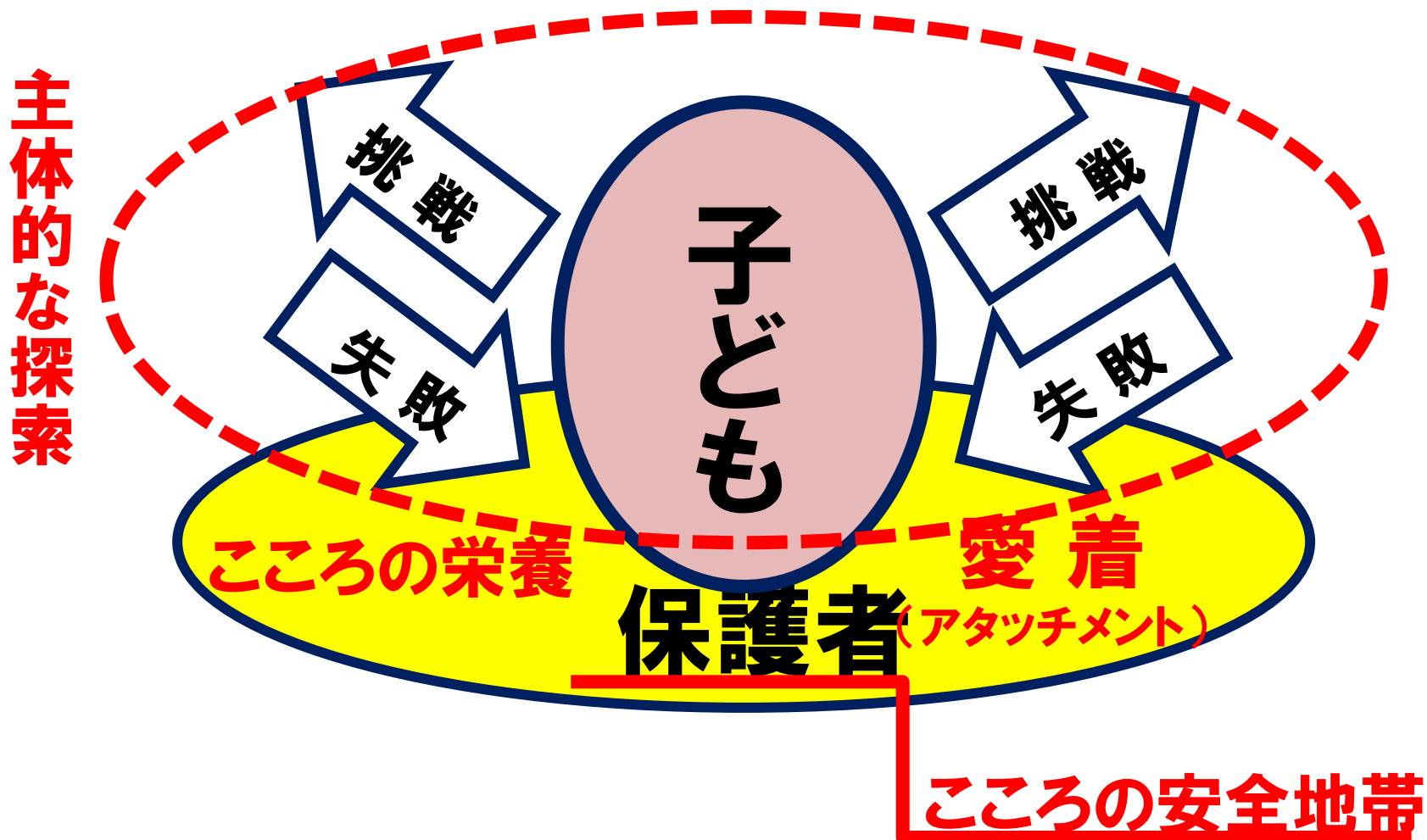
- ・ 成功体験によって自信がつく
- ・ 前向きな姿勢で取り組むようになる
- ・ 自己肯定感が高まる
- ・ 雰囲気明るくなる
- ・ 良い行動や態度が定着する
- ・ 仲間との信頼関係が深まる

＜褒めるための前提条件＞

- ・ 認めてあげる：自分らしさを活かす居場所
- ・ 子どもが喜びや悔しさを言葉にする場をつくる



- ・ 安全安心の環境づくり：心理的安全性





褒めるときの注意点

具体的な内容を伝える

結果より努力や過程に焦点を当てる

他の子と比較しない

褒めすぎ・子どもとの感覚のズレは逆効果

心からの言葉で伝えることが重要

効果的な褒め方 事例

直後に褒める → 即時フィードバック

練習中の努力を褒める → 仲間への声かけ

目標に対する達成を褒める → 自主性強化

指導とセットで褒める → 改善意欲を育てる

生活場面でも褒める → 家庭で成功体験を強化

子どもの懸命に取り組んでいないなど不甲斐ない姿を見る



- ・ その場では感情をコントロールすることができなくなる.
- ・ イライラがつつのりその怒りは、我が子にあたる.

最悪な親子関係 自尊心, 自己肯定感の低下



- ・ 子どもの沈黙には理由がある
- ・ 子どもは, 子どもなり考えている
- ・ お互いに冷静になって向き合う (24時間ルール)
- ・ 話したら「徹底的に聞く」「共感する」

NG : 人のせいにする (責任転換)

⇒ 自分を見失っている ⇒ 諭すことも重要

ROBIN VAN PERSIE

TALKS ABOUT
WINNERS TAKE CONTROL

And I actually had
this chat last week.

・ 失敗を学びの機会と捉える

失敗した時こそ、「どうすれば次うまくいくかな？」と一緒に考え、次に活かすチャンスと捉える。

【挫折経験】が人を「成長」させる

挫折や失敗のない人生はない、チャレンジすること重要、だから成長する

・ 主体性を重視する

子ども自身が考え、判断し、行動する機会を多く作り、選択を尊重することで、主体性が育まれます。

目の前の課題に対して自らの力で乗り越えようとする**ワクワク感**、
乗り越えた時の**達成感**を大切にする

【将来、主体的に行動がとれる子ども】

「課題を解決してもらった子ども」 < 「課題を自ら解決した子ども」

スラムダンクからの学び



「帰ったらまたやろうな

それまでなぜ負けたか 考えろい」

出典：スラムダンク

- **タイムマネージメント，日常生活の支援**

子どもたちは，怪我を我慢しているかもしれません
練習のし過ぎは，疲れがとれない

睡眠，栄養（食事），リラックスの確保（家に居る時が「子ども」）
勉強時間も大切，子どもと向き合う時間の確保，余暇
⇒ **バランスのとれた日常生活**

- **様々な経験が人を成長させる**

子どもは，様々なことに対する吸収力，創造力が高い
様々な機会を提供することも保護者の役割

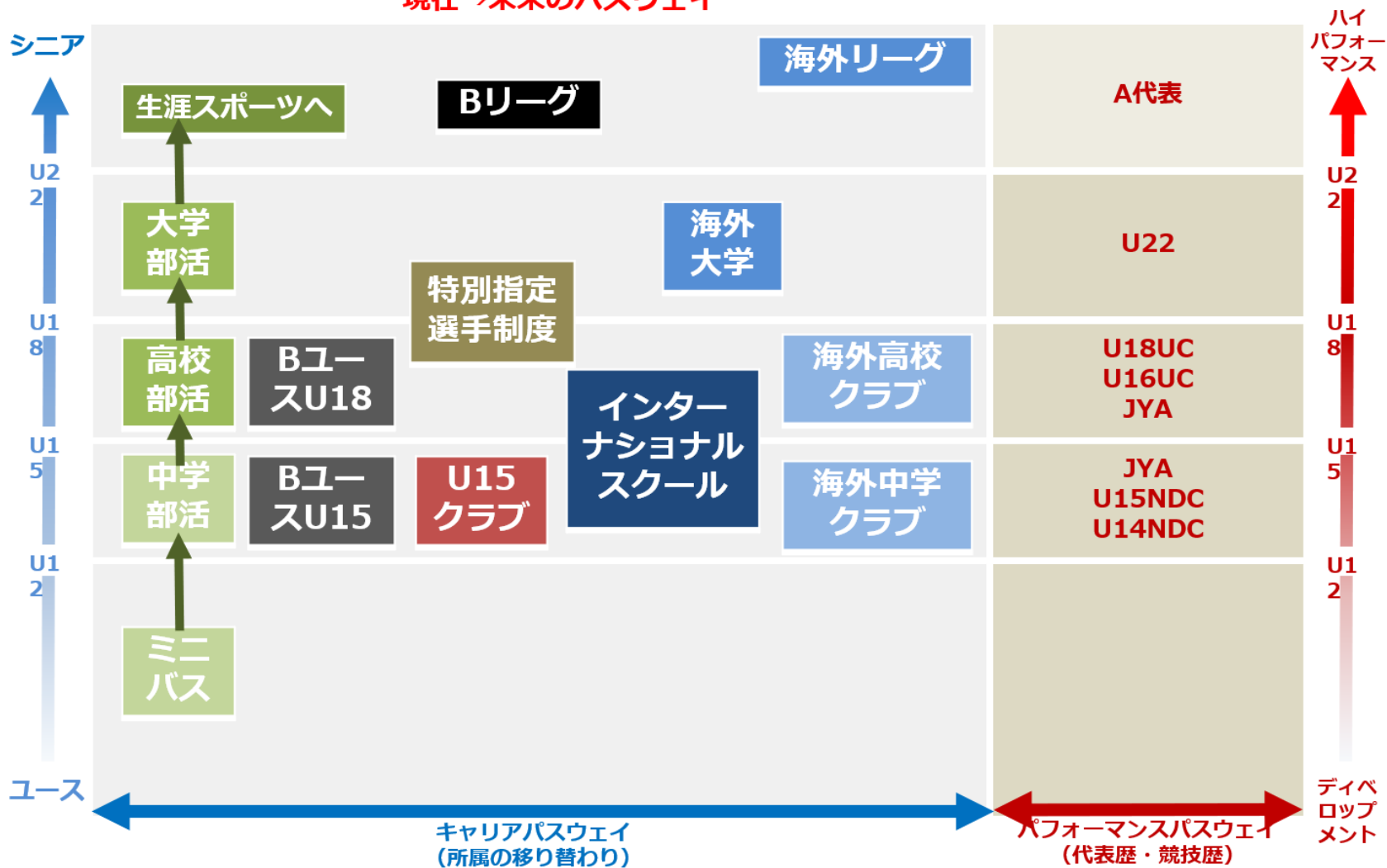
【マルチスポーツ】：運動経路の向上，怪我の予防，燃え尽き症候群防止
【非日常体験】：感性の向上，価値観，視野，気づきの拡大

カンボジアスタディツアーの学生の振り返り



アスリート育成パスウェイ＝「子どもがスポーツに触れてからトップアスリートになるまでの道すじ」

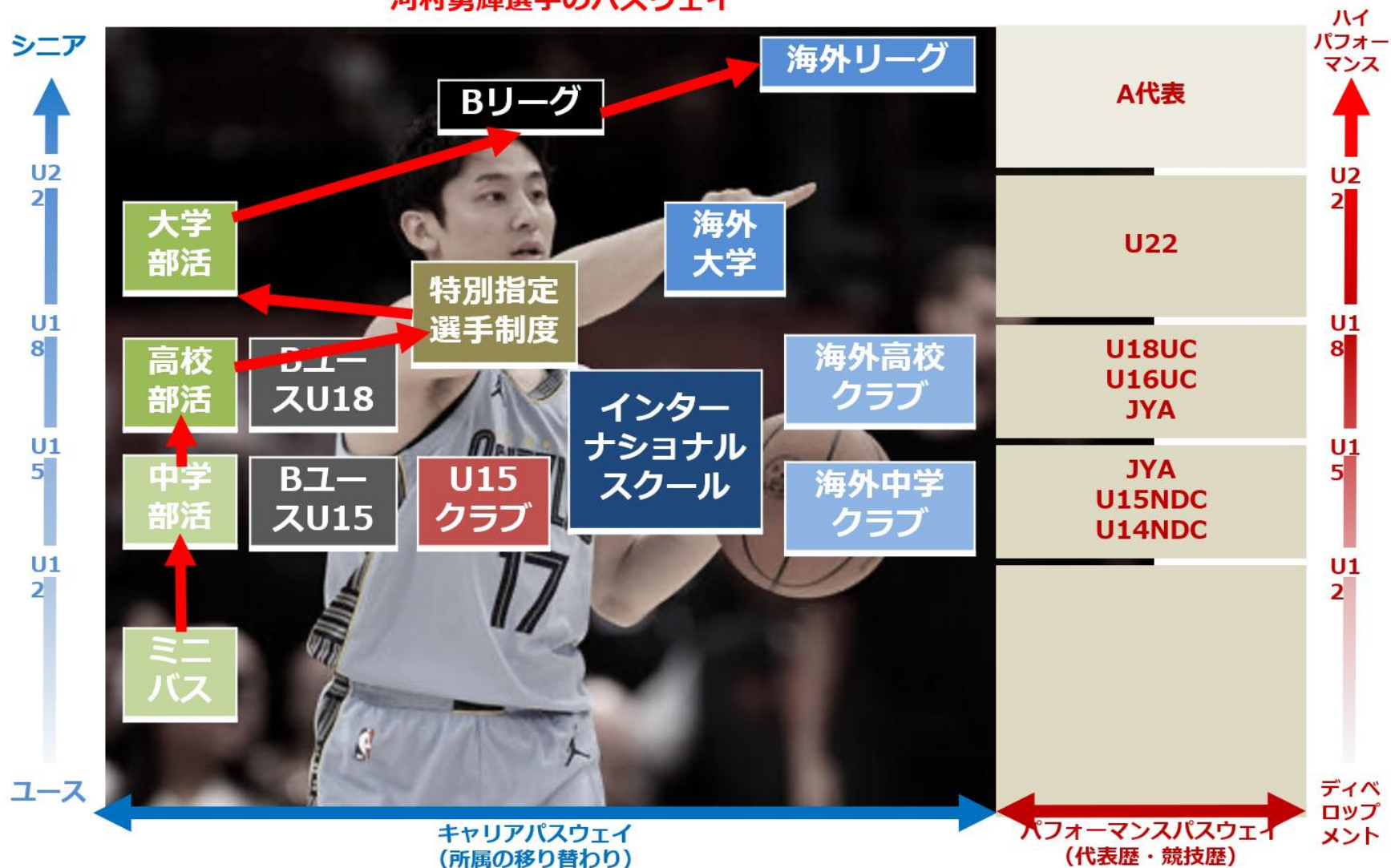
現在→未来のパスウェイ



川村選手のパスウェイ

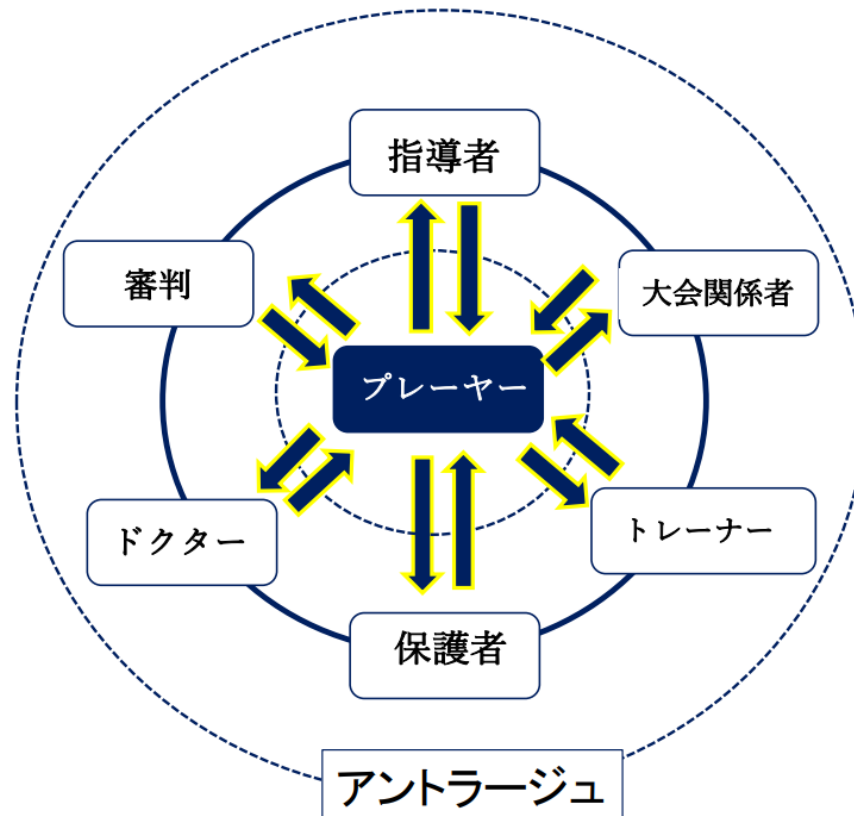
アスリート育成パスウェイ＝「子どもがスポーツに触れてからトップアスリートになるまでの道すじ」

河村勇輝選手のパスウェイ



「保護者のための5か条」を作成してください。

- ① 個々で浮かんだ案を書き出してください
- ② 意見交換をグループで行ってください。
- ③ 「保護者のための5か条」を完成してください。
- ④ 各グループで発表してもらいます。
 1. 作成のプロセス（話し合った内容）
 2. 完成した5か条の発表
 3. 追加したかった項目を1つ
 4. その他



子どもに関わる全ての大人が互いにリスペクトすることが不可欠



子どもだけでなく大人もバスケットを通じて豊かな心・生活を営む
Well-Being

■ 保護者が目指すべき理想は「最高のサポーター」

- ① チームに対して、怒こったり、意見を押し付けるような行動は一切しない
- ② 熱心なあまり“モンスター ペアレンツ”にならない。
- ③ 保護者の愛情のベクトルを正しく子どもに向ける
- ④ 子どもが最大限の力を発揮できる環境を整えることに、全力を尽くす。



子どもの成長を通じて家族の会話、笑顔が増え家族全員の幸福感が高まる



自「**立**」していく「**木**」のような
成長を側で「**見**」守る「保護者」
(親)であってください！

ご清聴 ありがとうございました。

JBAユース育成部会

村上佳司

keishi@andrew.ac.jp